

2016年 結果の概況

目 次

I ネットショッピングの状況

1	ネットショッピング利用世帯の割合は上昇	3
2	ネットショッピング支出金額は減少	4
3	ネットショッピング支出割合が最も高いのは「旅行関係費」で21.9%	6
4	ネットショッピング支出金額は12月が最も高い	7
5	「書籍」の支出金額が減少した「教養関係費」	8
6	世帯主が60歳未満で支出金額が増加した「保健・医療」	10

II 電子マネーの保有・利用状況

1	電子マネー利用世帯の割合は前年に比べ2.4ポイントの上昇	12
2	電子マネー利用世帯の割合が最も大きく上昇したのは中国地方	13
3	電子マネー利用金額は増加	14
4	電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代が最も高い	15

III 品目別支出の状況

1	婦人用スーツ・ワンピース	16
2	自動車購入（新車）	18
3	エアコン	20
4	カメラ（使い捨てカメラは除く）	22
5	パック旅行費（外国）	24

＜参考 1＞ 2016年の家計をめぐる主な動き

所得・消費関係

- ・ 日銀が金融機関の当座預金の一部にマイナス0.1%の金利（マイナス金利）を適用（2月）
- ・ 熊本地震発生。最大震度7の地震を2回観測（4月）
- ・ 大手自動車メーカーの燃費データの不正が発覚。軽自動車販売に打撃（4月）
- ・ 欧州連合（EU）残留・離脱を問うイギリスの国民投票の結果、「離脱」が「残留」を上回ったことを受け、2年7か月ぶりに対ドル一時99円台と円相場が上昇、日経平均株価は16年ぶりに1200円超の下げ幅を記録（6月）
- ・ 台風が相次いで上陸。上陸数は8月、9月の2か月間としては過去最多。天候不順により野菜などの価格が高騰
- ・ 最低賃金が25円引上げ。比較可能な2002年以降引上げ幅最大（10月）
- ・ 消費税率の引上げ（8%→10%）を2017年4月から2019年10月に再延期する税制改正関連法が成立。生活必需品である飲食料品の税率を8%に据え置く軽減税率の導入も延期（11月）
- ・ アメリカ大統領選挙でドナルド・トランプ氏が当選に必要な選挙人の過半数を獲得し、日経平均株価が上昇。年末にかけて1万9000円台で推移。円相場は年末に対ドル一時118円台と円安（11月、12月）
- ・ 映画「君の名は。」や「シン・ゴジラ」などヒット作が相次ぎ、興行収入が過去最高を記録

直接税・社会保険料関係

- ・ 路線価の全国平均がリーマン・ショック前の2008年以来8年ぶりに上昇（1月）
- ・ 国民年金保険料の引上げ（4月）
- ・ 雇用保険料率の引下げ（4月）
- ・ 厚生年金保険料率の引上げ（9月）

その他

- ・ マイナンバー制度の運用開始（1月）
- ・ 暖冬で冬（2015年12月～2月）の平均気温が各地で過去最高を記録（1月、2月）
- ・ 北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）開業（3月）
- ・ ベルギー、フランスを始め世界各地でテロが相次ぎ、外国旅行に影響
- ・ 電力の小売全面自由化により、家庭でも小売電気事業者を選択可能に（4月）
- ・ 総務省が「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」により、大手携帯電話会社に、利用者の通信料金の負担軽減等を要請（4月）
- ・ 伊勢志摩サミット開催（5月）
- ・ 世界文化遺産に「ル・コルビュジエの建築作品」の1つとして、東京都の国立西洋美術館が登録決定（7月）
- ・ スマートフォン向けゲームアプリ「ポケモンGO」が人気に（7月）
- ・ 8月11日が山の日として国民の祝日に（8月）
- ・ リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催（8月、9月）
- ・ 「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定（12月）
- ・ 訪日外国人旅客数が、前年（2015年）の1973万7千人を400万人以上上回る2403万9千人と過去最多。ただし、1人当たりの旅行支出は前年に比べ減少

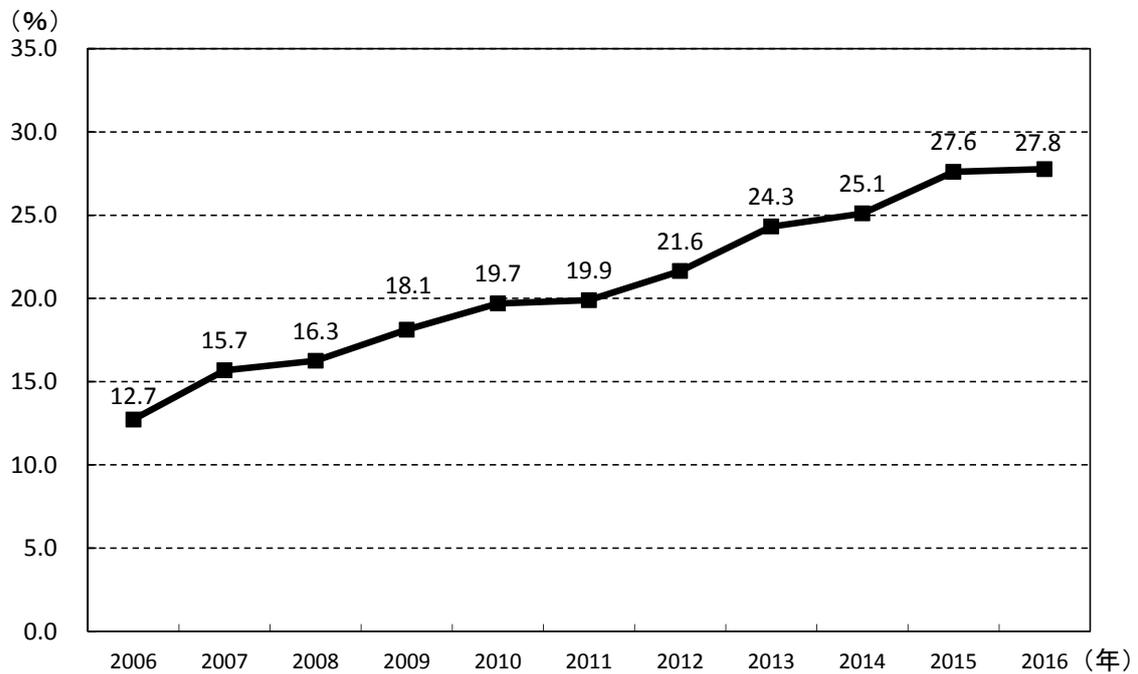
2016年 結果の概況

I ネットショッピング※¹の状況

1 ネットショッピング利用世帯の割合は上昇

二人以上の世帯におけるネットショッピングを利用した世帯の割合は、2006年は12.7%だったが、2016年には27.8%と10年前に比べて15.1ポイントの上昇となっている。(図I-1)

図I-1 ネットショッピング利用世帯の割合の推移(二人以上の世帯) - 2016年



※1 ネットショッピングとは、世帯におけるインターネットを通じた財(商品)やサービスの購入をいう。

2 ネットショッピング支出金額は減少

二人以上の世帯における 2016 年のネットショッピングの支出金額は、1 か月平均 8,535 円で、前年に比べ 1.2% の減少となった。

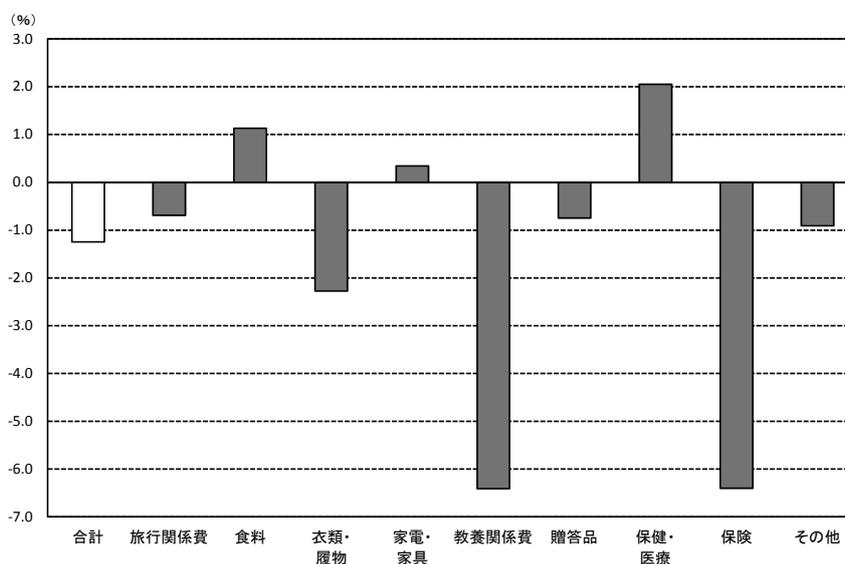
項目別に前年と比べてみると、書籍や音楽ソフトなどの「教養関係費」及び生命保険や医療保険などの「保険」が共に 6.4% の減少となった。一方、健康食品などの「保健・医療」が 2.1%、「食料」が 1.1% の増加となった。(表 I-2-1, 図 I-2-1)

世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、70 歳未満の各年齢階級では増加となったが、70 歳以上は減少となった。(表 I-2-2, 図 I-2-2)

表 I-2-1 ネットショッピング支出金額
(二人以上の世帯)

年次	合計	注1	食料	衣類・履物	家電・家具	注2	贈答品	注3	保険	注4
		旅行関係費				教養関係費		保健・医療		その他
月平均額(円)										
2015年	8,643	1,885	1,236	922	872	889	401	390	406	1,645
2016年	8,535	1,872	1,250	901	875	832	398	398	380	1,630
名目増減率(%)										
2016年	-1.2	-0.7	1.1	-2.3	0.3	-6.4	-0.7	2.1	-6.4	-0.9

図 I-2-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率
(二人以上の世帯) - 2016 年



注 1 旅行関係費：「宿泊料」, 「運賃」及び「パック旅行費」の合計

注 2 教養関係費：「書籍」, 「音楽・映像ソフト」, 「パソコン用ソフト」, 「ゲームソフト」, 「デジタルコンテンツ」及び「チケット」の合計

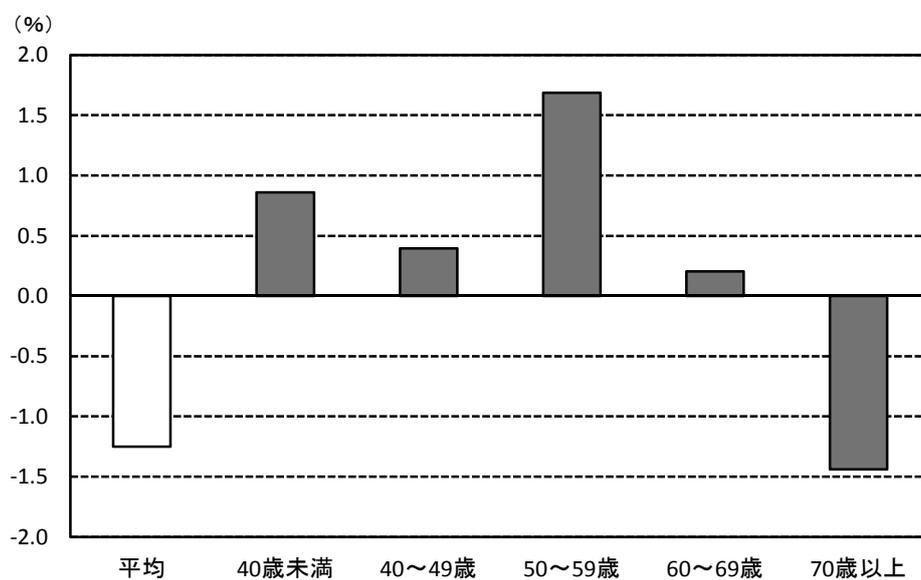
注 3 保健・医療：「医薬品」及び「健康食品」の合計

注 4 その他：「自動車等関係用品」及び「上記に当てはまらない商品・サービス」の合計

表 I - 2 - 2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	8,643	11,819	12,172	12,993	7,366	3,617
2016年	8,535	11,921	12,220	13,212	7,381	3,565
名目増減率(%)						
2016年	-1.2	0.9	0.4	1.7	0.2	-1.4

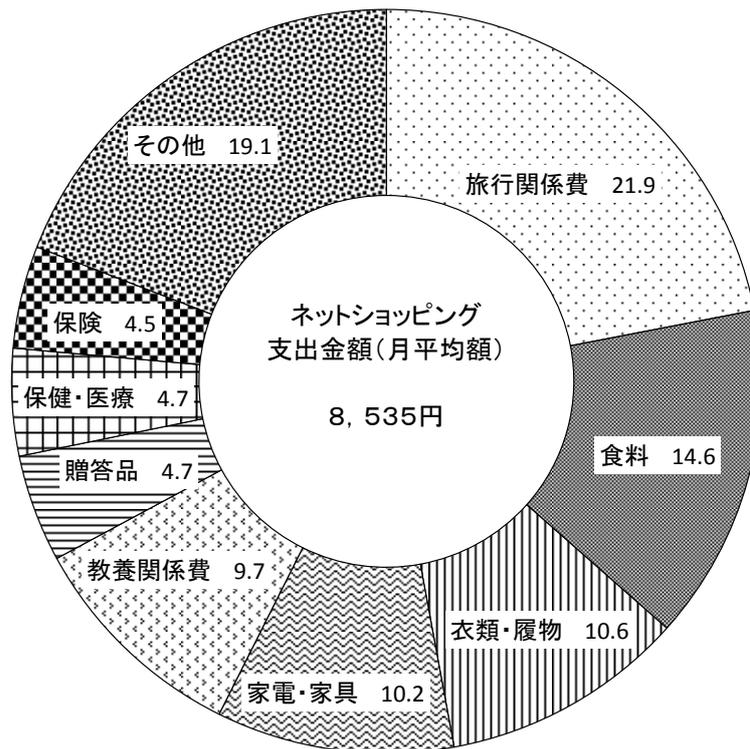
図 I - 2 - 2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率
(二人以上の世帯) - 2016年



3 ネットショッピング支出割合が最も高いのは「旅行関係費」で21.9%

二人以上の世帯における2016年のネットショッピングの支出金額についてその内訳の構成比をみると、「旅行関係費」の支出が21.9%と最も高く、次いで「食料」が14.6%、「衣類・履物」が10.6%、「家電・家具」が10.2%、「教養関係費」が9.7%などとなっている。(図I-3)

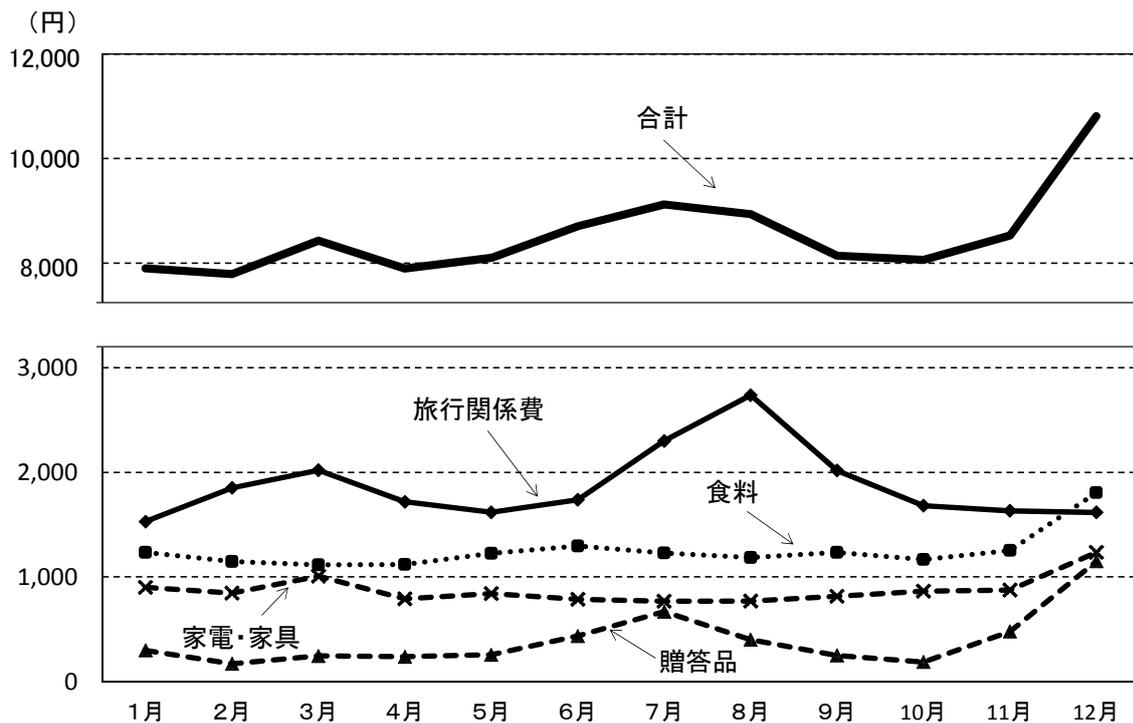
図I-3 ネットショッピング支出割合(%)
(二人以上の世帯) - 2016年



4 ネットショッピング支出金額は12月が最も高い

二人以上の世帯における2016年のネットショッピングの月別支出金額をみると、12月が最も高くなっている。内訳をみると、「食料」、「家電・家具」及び「贈答品」における12月の支出が最も高くなっている。(図I-4)

図I-4 ネットショッピング月別支出金額
(二人以上の世帯) - 2016年



5 「書籍」の支出金額が減少した「教養関係費」

二人以上の世帯におけるネットショッピングの支出金額の減少に大きく寄与した「教養関係費」について、2016年の内訳を前年と比べてみると、「書籍」が9.7%の減少と最も大きく減少しており、次いで「音楽・映像ソフト、パソコン用ソフト、ゲームソフト」が9.1%の減少などとなった。一方、「電子書籍」が22.9%の増加となった。（表I-5-1、図I-5-1）

また、世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、50～59歳が10.4%の減少と最も大きく減少しており、次いで70歳以上が5.7%の減少となるなど、40歳以上の各年齢階級で減少となった。（表I-5-2、図I-5-2）

表I-5-1 ネットショッピング支出金額－教養関係費－
(二人以上の世帯)

年次	合計	書籍	音楽・映像ソフト、 パソコン用ソフト、 ゲームソフト	電子書籍	ダウンロード版の 音楽・映像、 アプリなど	チケット
月平均額(円)						
2015年	889	216	252	35	54	332
2016年	832	195	229	43	51	314
名目増減率(%)						
2016年	-6.4	-9.7	-9.1	22.9	-5.6	-5.4

図I-5-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率－教養関係費－
(二人以上の世帯)－2016年

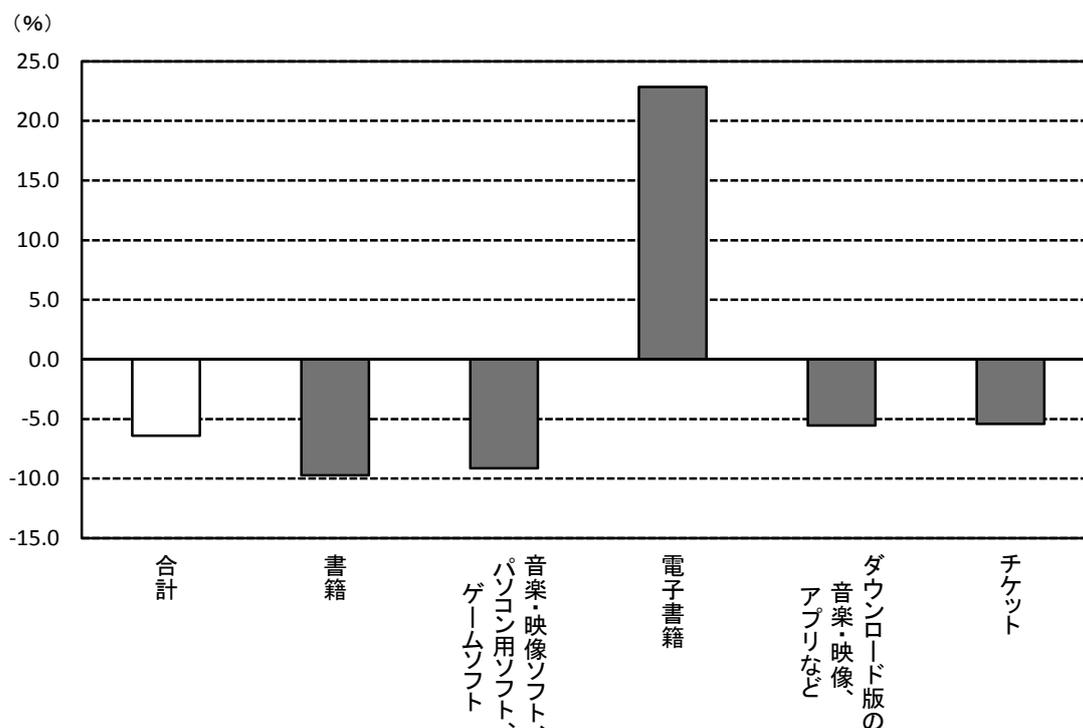
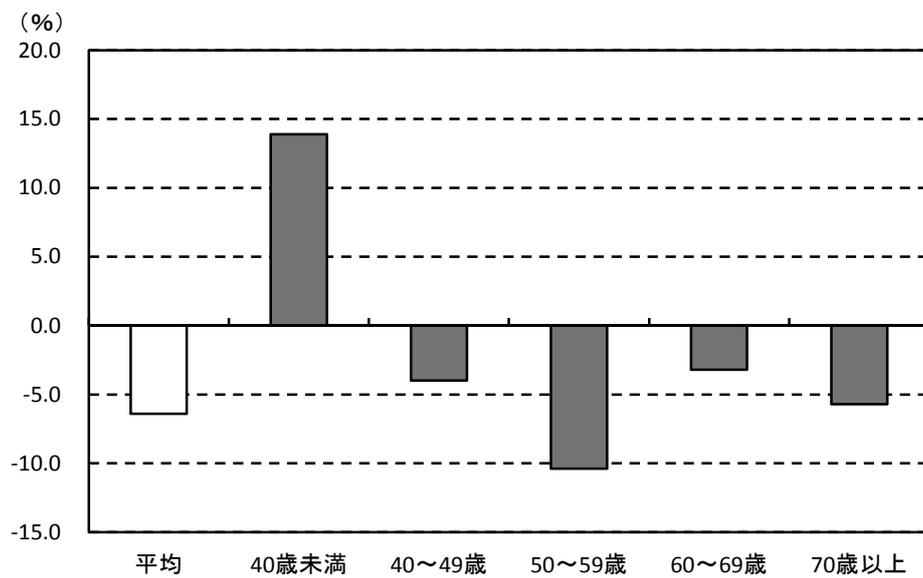


表 I-5-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額 —教養関係費—
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	889	942	1,362	1,535	692	317
2016年	832	1,073	1,308	1,376	670	299
名目増減率(%)						
2016年	-6.4	13.9	-4.0	-10.4	-3.2	-5.7

図 I-5-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 —教養関係費—
(二人以上の世帯) —2016年



6 世帯主が60歳未満で支出金額が増加した「保健・医療」

二人以上の世帯におけるネットショッピングの支出金額の増加率が最も高かった「保健・医療」について、2016年の内訳を前年と比べてみると、「健康食品」が4.6%の増加となった。（表I-6-1、図I-6-1）

また、世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、40～49歳が14.1%の増加と最も大きく増加しており、次いで40歳未満が12.3%の増加となるなど、60歳未満の各年齢階級で増加となった。（表I-6-2、図I-6-2）

表I-6-1 ネットショッピング支出金額 -保健・医療-
(二人以上の世帯)

年次	合計	医薬品	健康食品
月平均額(円)			
2015年	390	88	302
2016年	398	82	316
名目増減率(%)			
2016年	2.1	-6.8	4.6

図I-6-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 -保健・医療-
(二人以上の世帯) -2016年

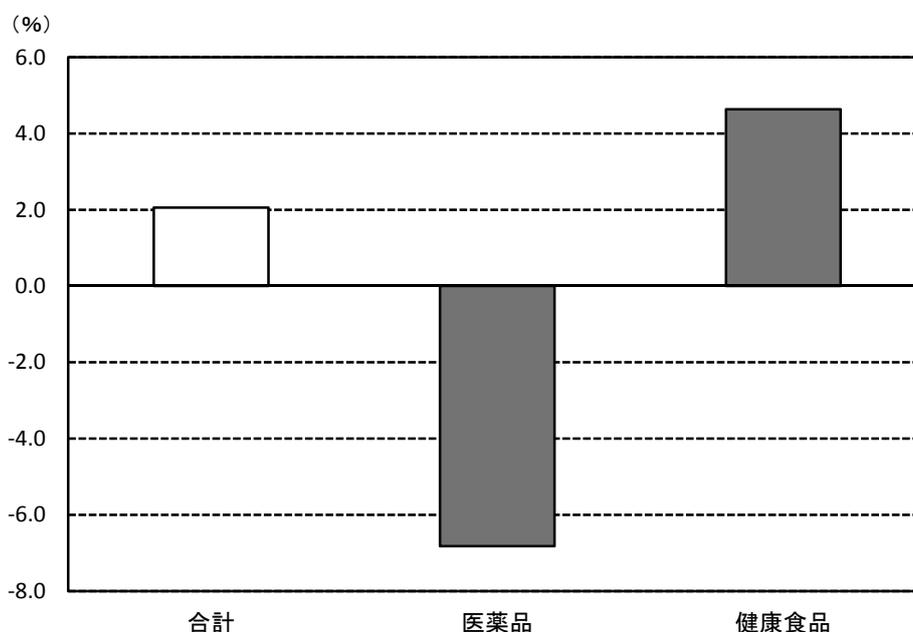
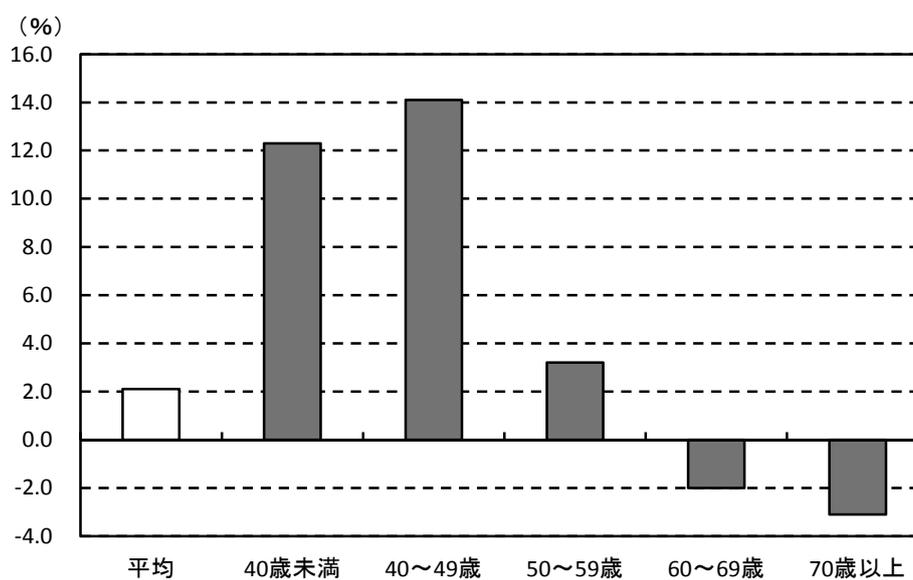


表 I - 6 - 2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額 - 保健・医療 -
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	390	293	376	565	396	290
2016年	398	329	429	583	388	281
名目増減率(%)						
2016年	2.1	12.3	14.1	3.2	-2.0	-3.1

図 I - 6 - 2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 - 保健・医療 -
(二人以上の世帯) - 2016年



II 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー利用^{※2}世帯の割合は前年に比べ2.4ポイントの上昇

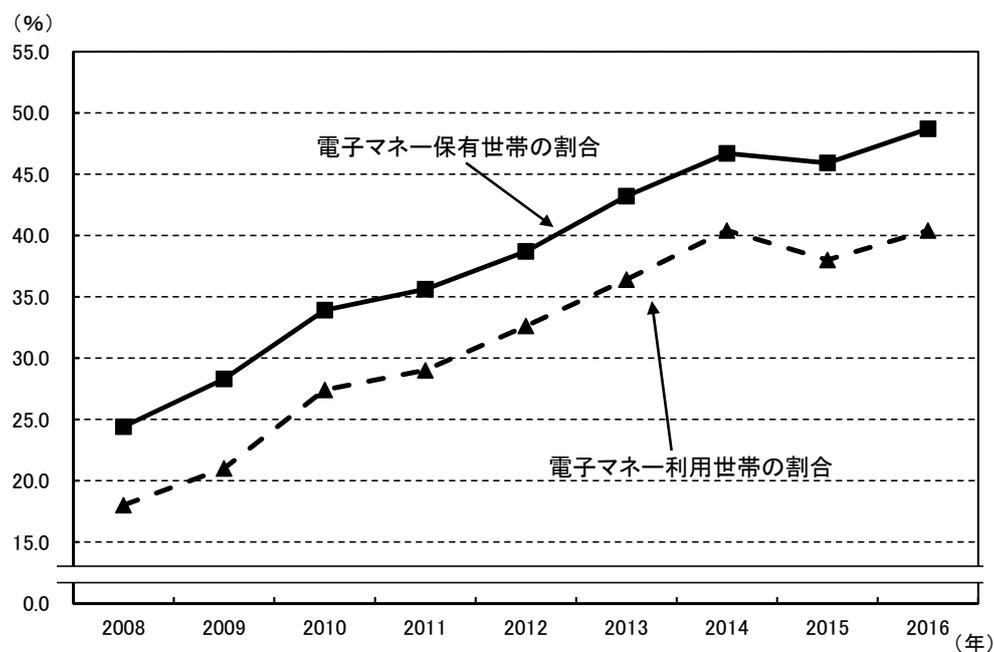
単身世帯を含む世帯全体（総世帯）における2016年の電子マネーを保有している世帯員がいる世帯の割合は48.7%で、前年に比べ2.8ポイントの上昇となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯の割合は40.4%で、前年に比べ2.4ポイントの上昇となった。（表II-1，図II-1）

表II-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（総世帯）

年次	電子マネー 保有世帯	電子マネー 利用世帯
割合(%)		
2008年	24.4	18.0
2009	28.3	21.0
2010	33.9	27.4
2011	35.6	29.0
2012	38.7	32.6
2013	43.2	36.4
2014	46.7	40.4
2015	45.9	38.0
2016	48.7	40.4

図II-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（総世帯）



※2 電子マネーの利用とは

この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど

なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

2 電子マネー利用世帯の割合が最も大きく上昇したのは中国地方

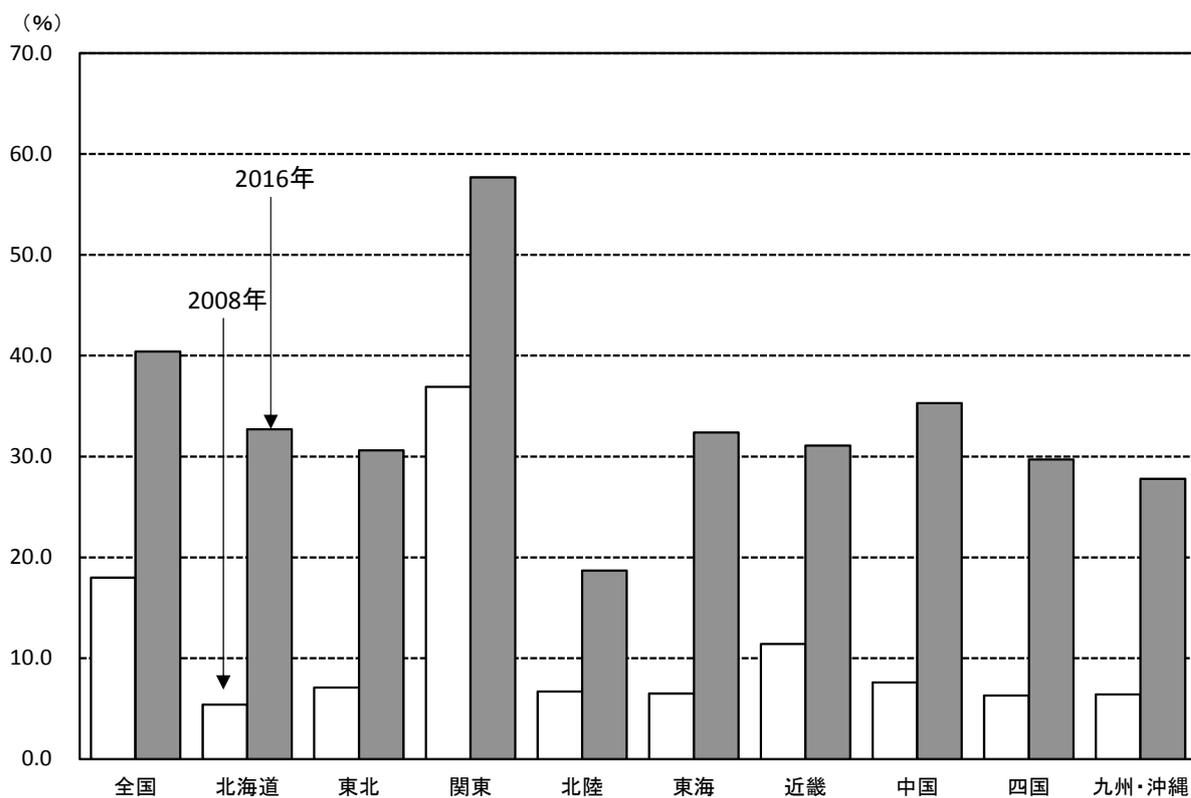
世帯全体（総世帯）における 2016 年の電子マネー利用世帯の割合を地方別にみると、関東が 57.7%と最も高く、次いで中国が 35.3%，北海道が 32.7%などとなっている。

電子マネーの調査を開始した 2008 年と比べてみると、最も上昇したのは中国で 27.7 ポイントの上昇、次いで北海道で 27.3 ポイントの上昇、東海で 25.9 ポイントの上昇などとなっており、全ての地方で 10 ポイント以上の上昇となっている。（表Ⅱ－2，図Ⅱ－2）

表Ⅱ－2 地方別電子マネー利用世帯の割合（総世帯）

年次	全国	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
割合(%)										
2008年	18.0	5.4	7.1	36.9	6.7	6.5	11.4	7.6	6.3	6.4
2016年	40.4	32.7	30.6	57.7	18.7	32.4	31.1	35.3	29.7	27.8
差(ポイント)	22.4	27.3	23.5	20.8	12.0	25.9	19.7	27.7	23.4	21.4

図Ⅱ－2 地方別電子マネー利用世帯の割合（総世帯）



3 電子マネー利用金額は増加

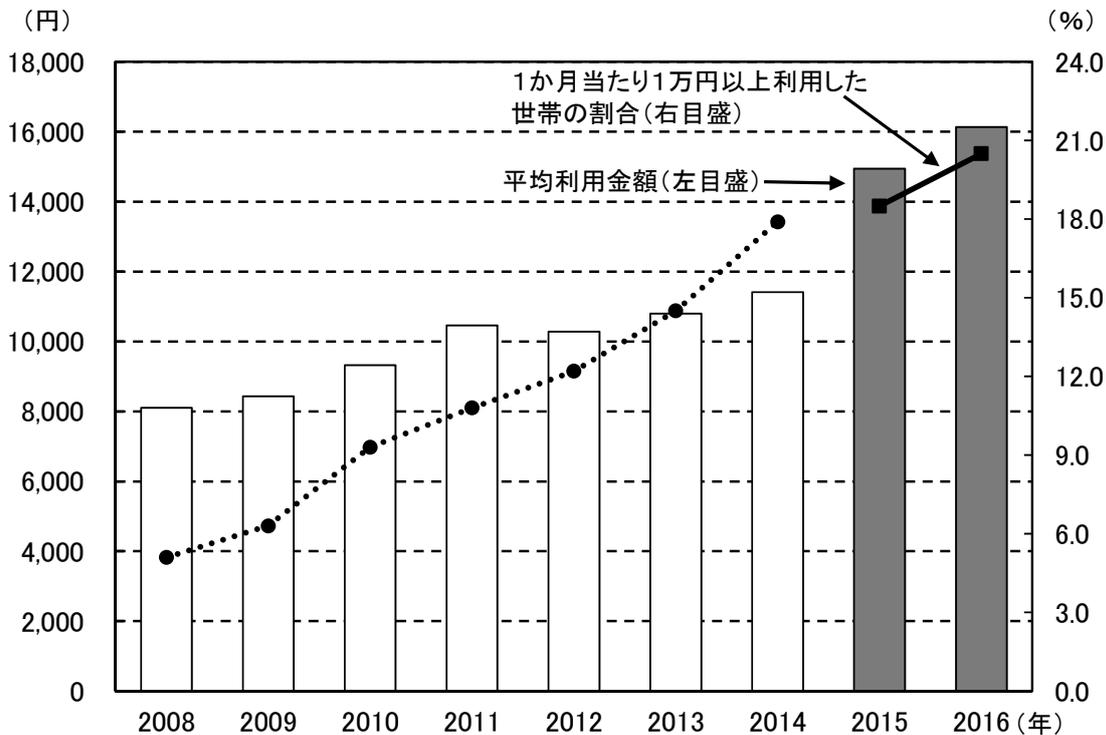
電子マネー利用世帯（総世帯）当たりの2016年の電子マネーの利用金額は、1か月平均16,133円で、前年に比べ8.0%の増加となった^{※3}。

また、電子マネーを1か月当たり1万円以上利用した世帯の割合は20.5%で、前年に比べ2.0ポイントの上昇となった。（表Ⅱ-3、図Ⅱ-3）

表Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（総世帯）

年次	平均利用金額(円)	1か月当たり1万円以上利用した世帯の割合(%)
2008年	8,104	5.1
2009	8,431	6.3
2010	9,325	9.3
2011	10,457	10.8
2012	10,283	12.2
2013	10,803	14.5
2014	11,410	17.9
2015	14,941	18.5
2016	16,133	20.5
2016年の対前年 名目増減率(%)	8.0	-

図Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（総世帯）



※3 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネーを利用した1世帯当たりの1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

4 電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代が最も高い

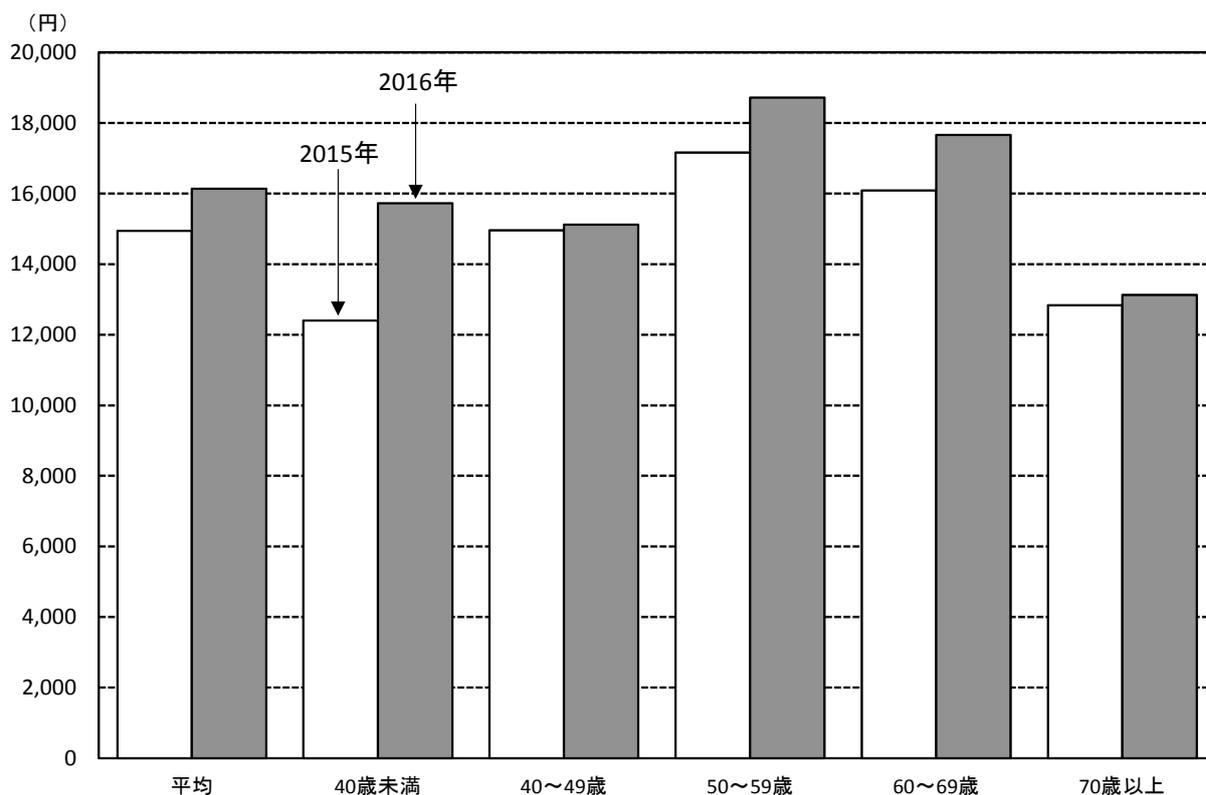
電子マネー利用世帯（総世帯）当たりの2016年の電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均18,717円で最も高く、次いで60～69歳（17,657円）、40歳未満（15,724円）などとなっている。

前年と比べてみると、全ての年齢階級で増加となった。（表Ⅱ－4、図Ⅱ－4）

表Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（総世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	14,941	12,401	14,961	17,163	16,086	12,832
2016年	16,133	15,724	15,119	18,717	17,657	13,124
名目増減率(%)						
2016年	8.0	26.8	1.1	9.1	9.8	2.3

図Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（総世帯）



Ⅲ 品目別支出の状況

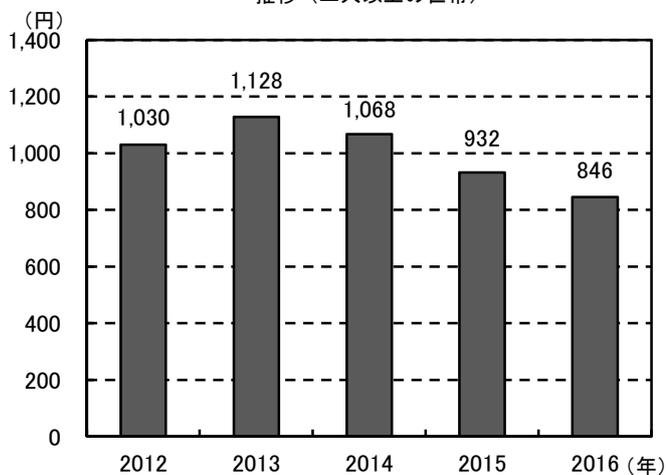
1 婦人用スーツ・ワンピース

二人以上の世帯における2016年の婦人用スーツ・ワンピースの支出金額は、1か月平均846円で、前年に比べ名目で9.2%の減少、物価変動の影響を除いた実質で10.9%の減少となった。

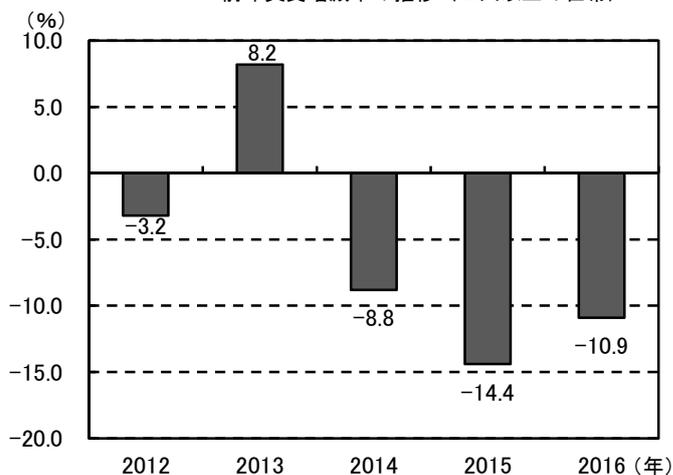
対前年実質増減率の推移をみると、2016年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2014年以降3年連続の実質減少となっている。

また、月別にみると、暖冬による冬物衣料の不振、気温が高めに推移したことによる秋物衣料の不振等により、1月から10月までは実質減少となった。(図Ⅲ-1-1、図Ⅲ-1-2、図Ⅲ-1-3、図Ⅲ-1-4)

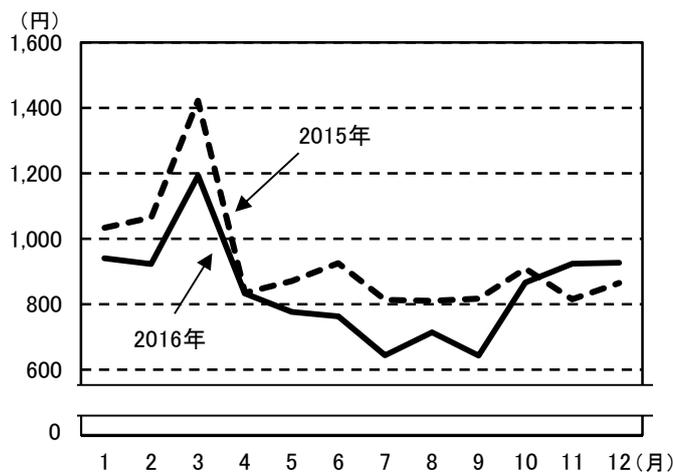
図Ⅲ-1-1 婦人用スーツ・ワンピースの支出金額の推移(二人以上の世帯)



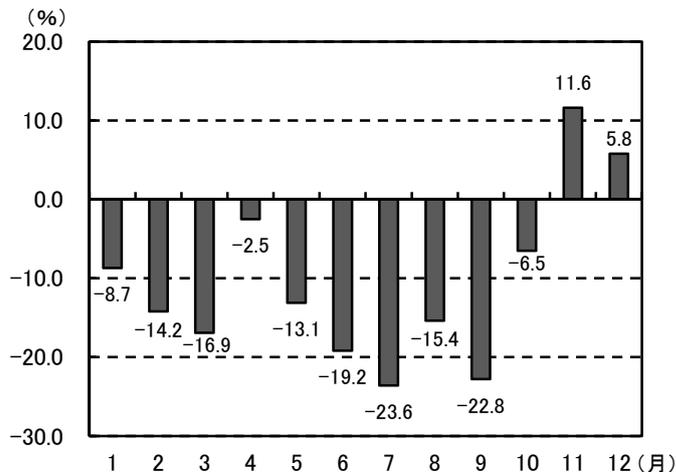
図Ⅲ-1-2 婦人用スーツ・ワンピースの支出金額の対前年実質増減率の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-1-3 婦人用スーツ・ワンピースの月別支出金額の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-1-4 婦人用スーツ・ワンピースの月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯) - 2016年

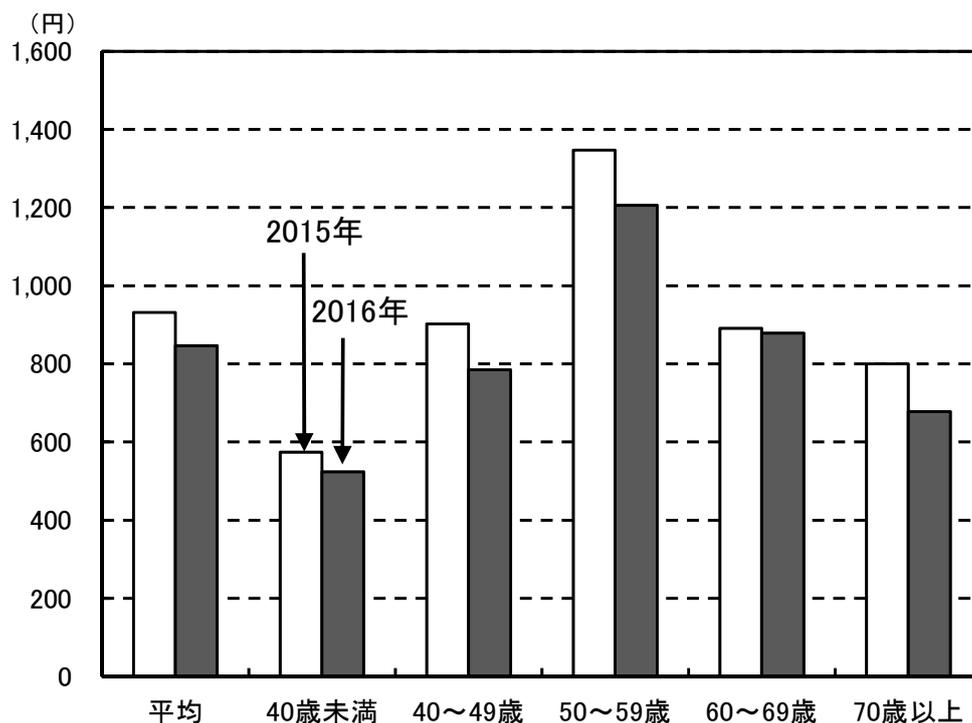


婦人用スーツ・ワンピースの支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1,206円で最も高く、次いで60～69歳(879円)、40～49歳(785円)などとなっている。前年と比べてみると、全ての年齢階級で実質減少となった。(表Ⅲ-1、図Ⅲ-1-5)

表Ⅲ-1 世帯主の年齢階級別婦人用スーツ・ワンピースの支出金額(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	932	574	902	1,347	891	800
2016年	846	523	785	1,206	879	678
名目増減率(%)						
2016年	-9.2	-8.8	-13.0	-10.5	-1.3	-15.3
実質増減率(%)						
2016年	-10.9	-10.5	-14.6	-12.2	-3.1	-16.9

図Ⅲ-1-5 世帯主の年齢階級別婦人用スーツ・ワンピースの支出金額(二人以上の世帯)



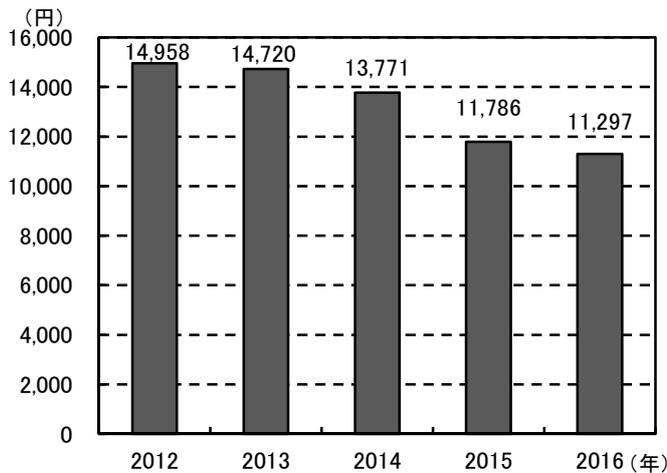
2 自動車購入（新車）

二人以上の世帯における2016年の自動車購入（新車）の支出金額は、1か月平均11,297円で、前年に比べ名目で4.1%の減少、実質で4.3%の減少となった。

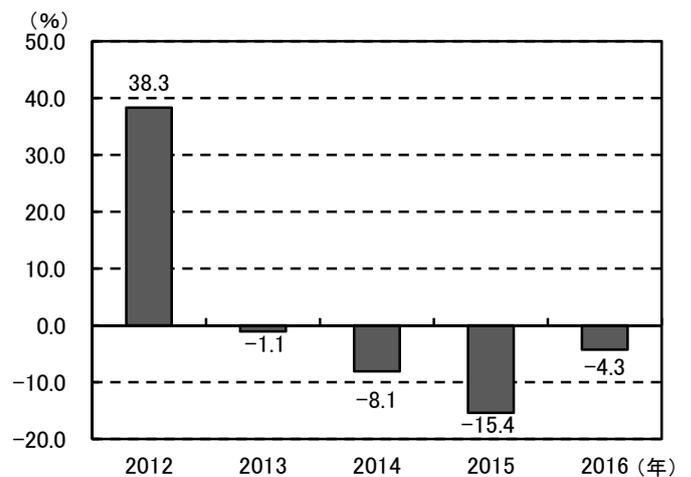
対前年実質増減率の推移をみると、2016年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2013年以降4年連続の実質減少となっている。

また、月別にみると、2016年4月に発覚した軽自動車の燃費データ不正問題などの影響により、8月までは7月を除く各月で実質減少となった。9月以降は12月を除く各月で実質増加となった。（図Ⅲ-2-1，図Ⅲ-2-2，図Ⅲ-2-3，図Ⅲ-2-4）

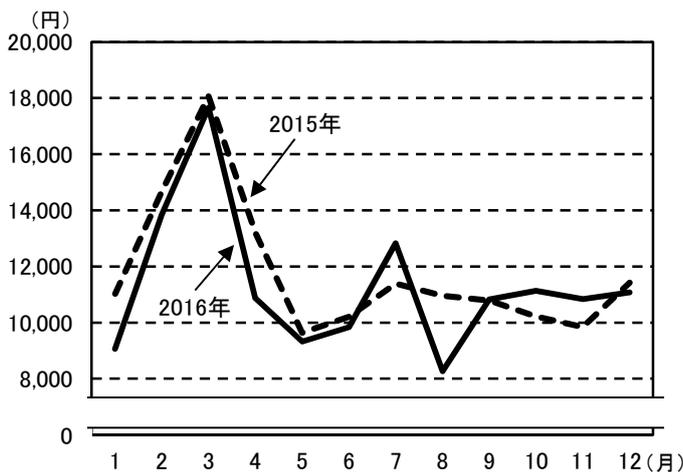
図Ⅲ-2-1 自動車購入（新車）の支出金額の推移
（二人以上の世帯）



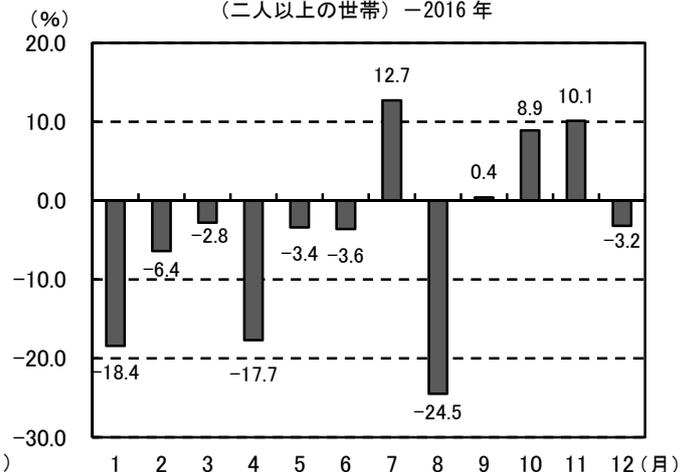
図Ⅲ-2-2 自動車購入（新車）の支出金額の対前年実質増減率の推移
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-2-3 自動車購入（新車）の月別支出金額の推移
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-2-4 自動車購入（新車）の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移
（二人以上の世帯） -2016年



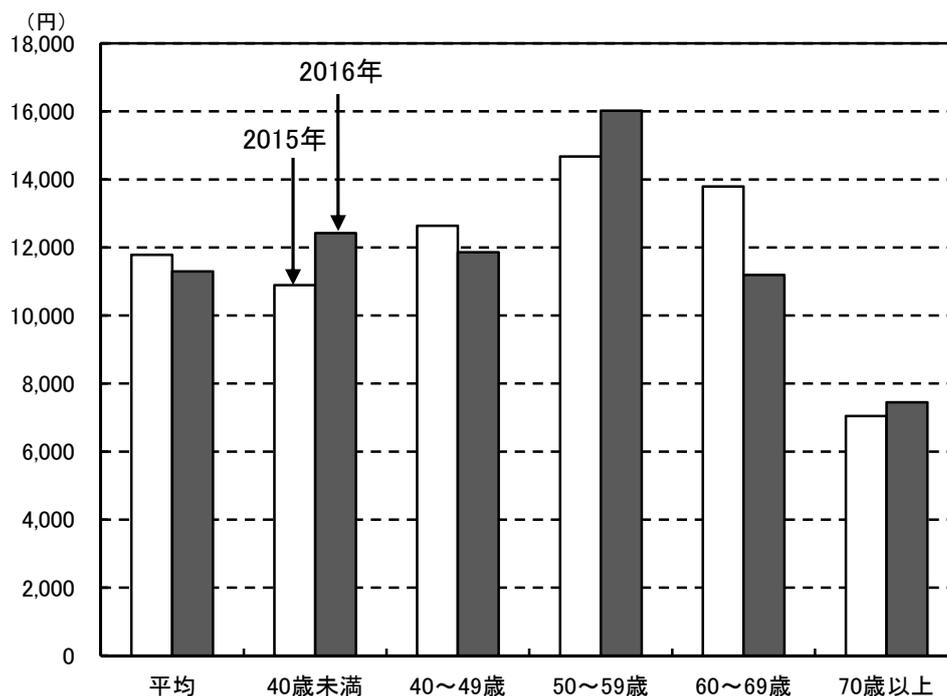
自動車購入（新車）の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が16,018円で最も高く、次いで40歳未満（12,425円）、40～49歳（11,854円）などとなっている。

前年と比べてみると、40～49歳及び60～69歳で実質減少となった。（表Ⅲ－2，図Ⅲ－2－5）

表Ⅲ－2 世帯主の年齢階級別自動車購入（新車）の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	11,786	10,888	12,640	14,676	13,794	7,044
2016年	11,297	12,425	11,854	16,018	11,191	7,448
名目増減率(%)						
2016年	-4.1	14.1	-6.2	9.1	-18.9	5.7
実質増減率(%)						
2016年	-4.3	13.9	-6.4	8.9	-19.1	5.5

図Ⅲ－2－5 世帯主の年齢階級別自動車購入（新車）の支出金額（二人以上の世帯）



3 エアコン

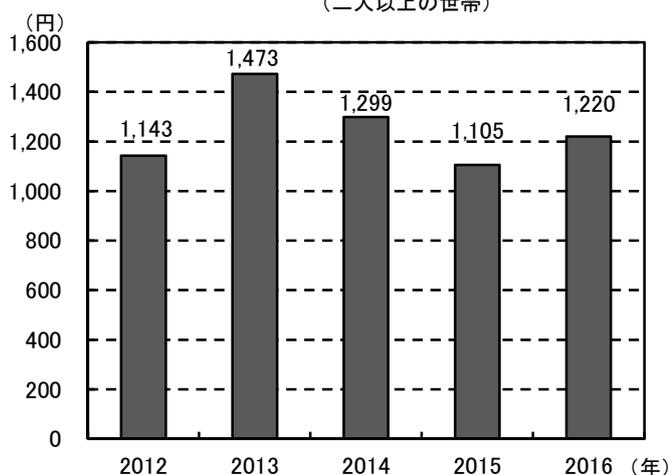
二人以上の世帯における2016年のエアコンの支出金額は、1か月平均1,220円で、前年に比べ名目で10.4%の増加、実質で12.5%の増加となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2014年及び2015年は実質減少となっていたが、2016年は3年ぶりに実質増加に転じた。

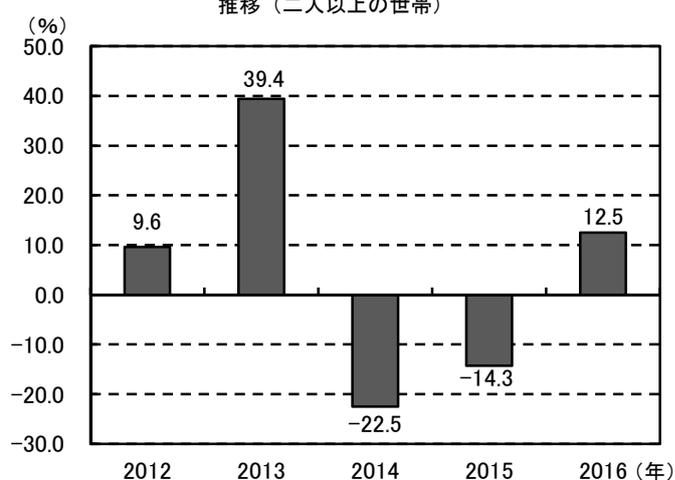
また、月別にみると、1月及び天候不順であった8月を除く各月で実質増加となった。

(図Ⅲ-3-1, 図Ⅲ-3-2, 図Ⅲ-3-3, 図Ⅲ-3-4)

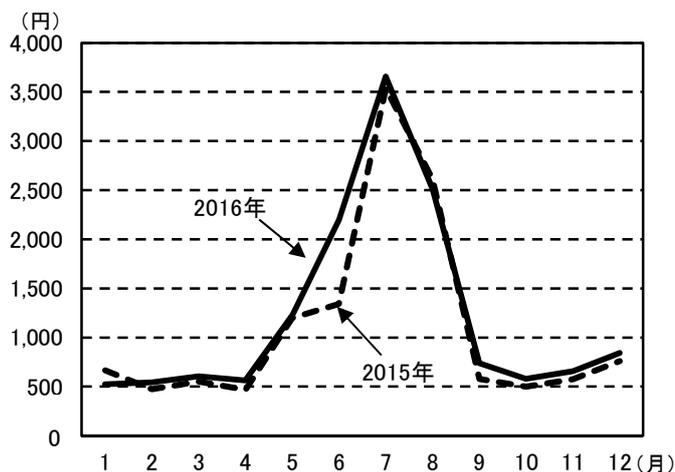
図Ⅲ-3-1 エアコンの支出金額の推移
(二人以上の世帯)



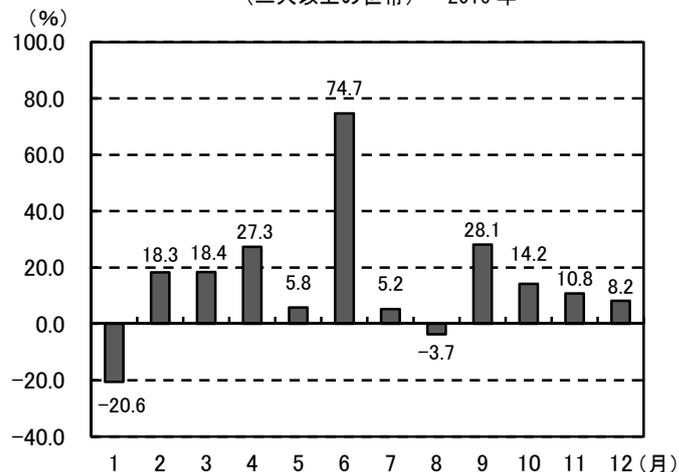
図Ⅲ-3-2 エアコンの支出金額の対前年実質増減率の推移
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-3-3 エアコンの月別支出金額の推移
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-3-4 エアコンの月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移
(二人以上の世帯) - 2016年



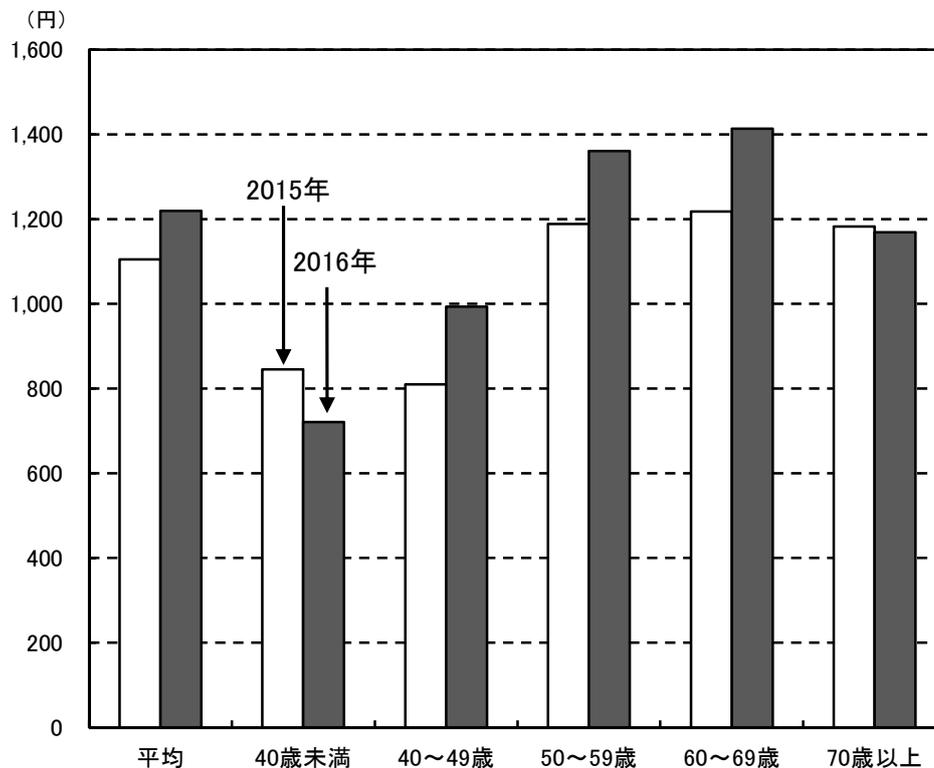
エアコンの支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が1,414円で最も高く、次いで50～59歳（1,361円）、70歳以上（1,169円）などとなっている。

前年と比べてみると、40歳以上70歳未満の各年齢階級で実質増加となった。（表Ⅲ-3，図Ⅲ-3-5）

表Ⅲ-3 世帯主の年齢階級別エアコンの支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	1,105	845	810	1,189	1,218	1,183
2016年	1,220	721	993	1,361	1,414	1,169
名目増減率(%)						
2016年	10.4	-14.8	22.6	14.5	16.1	-1.2
実質増減率(%)						
2016年	12.5	-13.1	25.0	16.7	18.3	0.7

図Ⅲ-3-5 世帯主の年齢階級別エアコンの支出金額（二人以上の世帯）



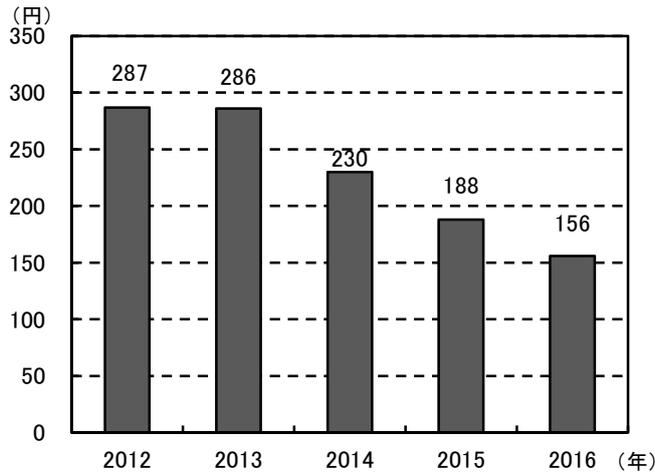
4 カメラ（使い捨てカメラを除く）

二人以上の世帯における2016年のカメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額は、1か月平均156円で、前年に比べ名目で17.0%の減少、実質で19.3%の減少となった。

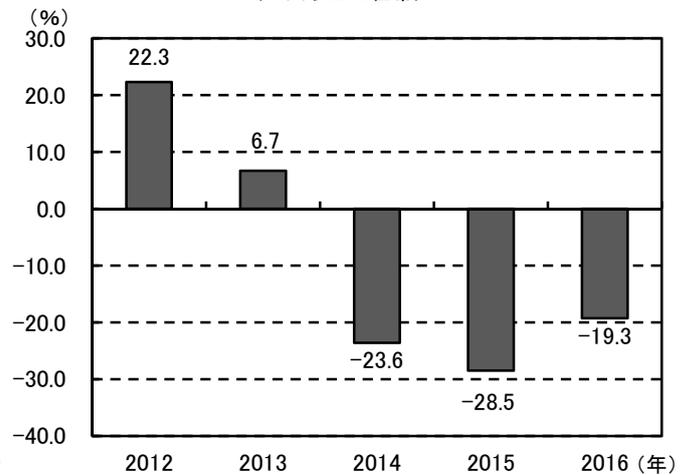
対前年実質増減率の推移をみると、2016年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2014年以降3年連続の実質減少となっている。

また、月別にみると、6月、9月及び12月を除く各月で実質減少となった。（図Ⅲ-4-1、図Ⅲ-4-2、図Ⅲ-4-3、図Ⅲ-4-4）

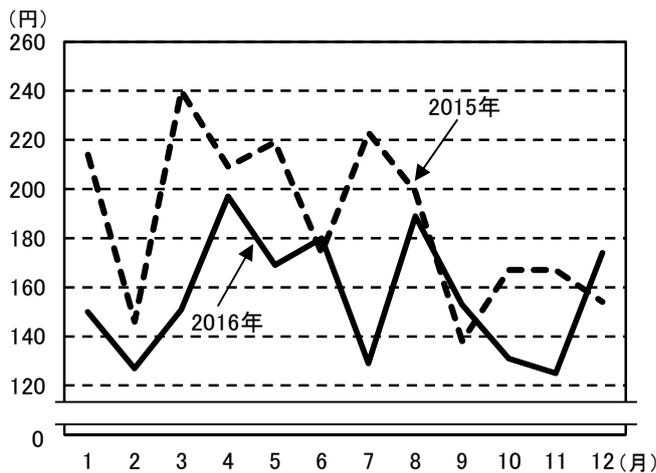
図Ⅲ-4-1 カメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額の推移（二人以上の世帯）



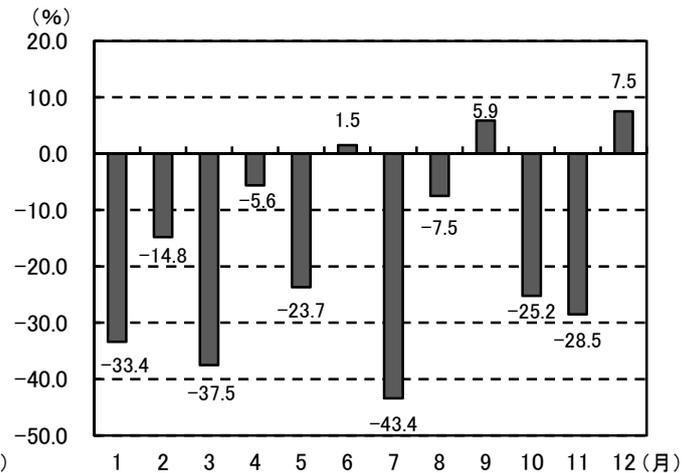
図Ⅲ-4-2 カメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額の対前年実質増減率の推移（二人以上の世帯）



図Ⅲ-4-3 カメラ（使い捨てカメラを除く）の月別支出金額の推移（二人以上の世帯）



図Ⅲ-4-4 カメラ（使い捨てカメラを除く）の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯）-2016年



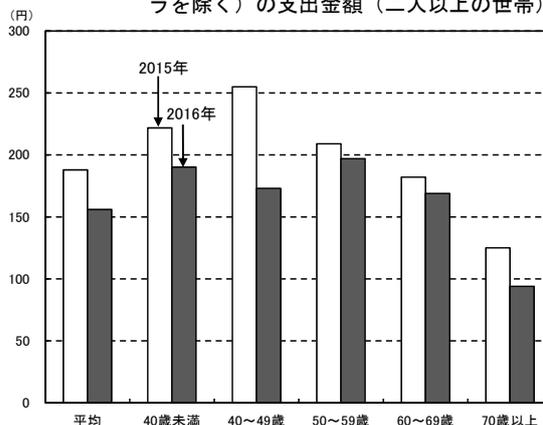
カメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が197円で最も高く、次いで40歳未満（190円）、40～49歳（173円）などとなっている。

前年と比べてみると、全ての年齢階級で実質減少となった。（表Ⅲ－４、図Ⅲ－４－５）

表Ⅲ－４ 世帯主の年齢階級別カメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	188	222	255	209	182	125
2016年	156	190	173	197	169	94
名目増減率(%)						
2016年	-17.0	-14.3	-32.2	-5.7	-7.1	-24.8
実質増減率(%)						
2016年	-19.3	-16.7	-34.1	-8.4	-9.7	-26.9

図Ⅲ－４－５ 世帯主の年齢階級別カメラ（使い捨てカメラを除く）の支出金額（二人以上の世帯）



コラム

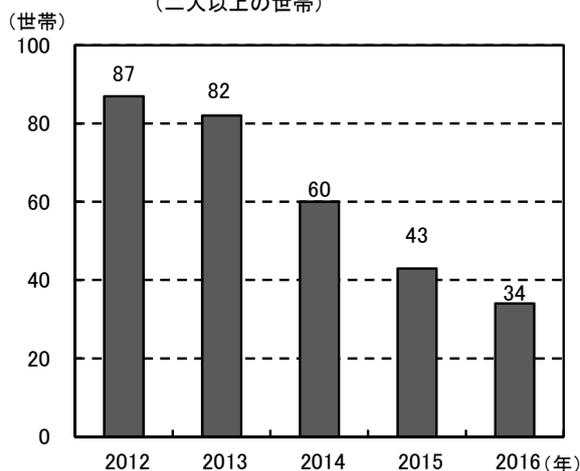
二人以上の世帯におけるカメラの支出金額は、図Ⅲ－４－１でみたとおり近年減少傾向が続いており、2016年の支出金額は2012年から45.6%減少し、ほぼ半額近くに減少しています。

その主な要因として、カメラを購入する世帯の割合が低下していることが挙げられ、2012年に1万世帯当たり月に87世帯あった購入世帯は、2016年には34世帯まで大きく減少しています。

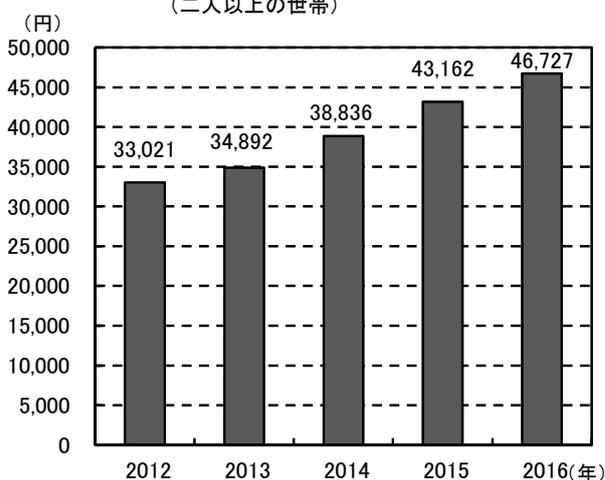
他方で、カメラを購入した世帯のカメラの購入金額は年々増加し、2012年の33,021円から2016年は46,727円へと41.5%増加しています。

高精細な写真を撮影できるスマートフォンの普及が進む中で、コンパクトデジタルカメラの需要が低下し、カメラの購入は、一眼レフやミラーレスなど高度な撮影ができる機種が中心となっている状況が推察されます。

図Ⅲ－４－６ カメラ（使い捨てカメラを除く）の購入世帯の割合（10000世帯当たり）の推移（二人以上の世帯）



図Ⅲ－４－７ カメラ（使い捨てカメラを除く）の購入世帯における支出金額の推移（二人以上の世帯）



5 パック旅行費（外国）

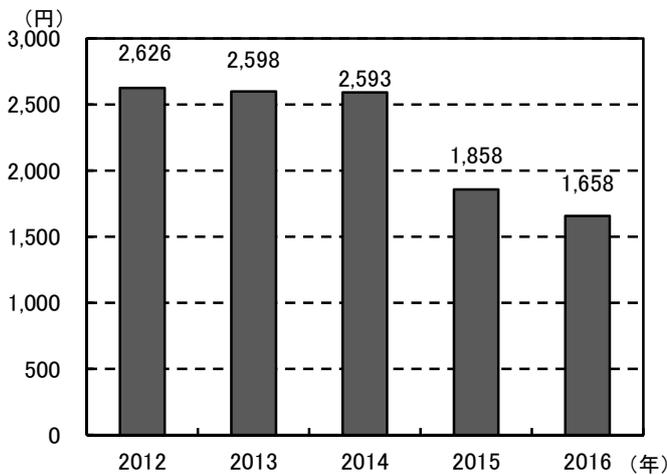
二人以上の世帯における2016年のパック旅行費（外国）の支出金額は、1か月平均1,658円で、前年に比べ名目で10.8%の減少、実質で15.0%の減少となった。

対前年実質増減率の推移をみると、2016年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2013年以降4年連続の実質減少となっている。

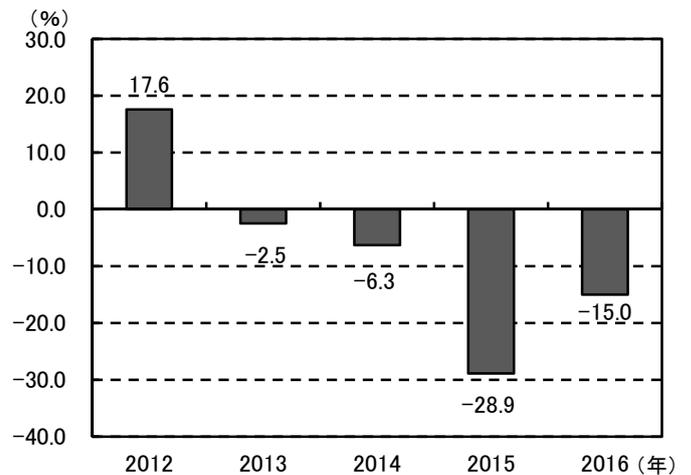
また、月別にみると、世界各地で発生したテロ事件による国際情勢への不安の高まり等により、9月及び12月を除く各月で実質減少となった。また、5月は、ゴールデンウィークが長期休暇を取りづらい日並びであったこともあり、39.7%の実質減少となった。

（図Ⅲ-5-1，図Ⅲ-5-2，図Ⅲ-5-3，図Ⅲ-5-4）

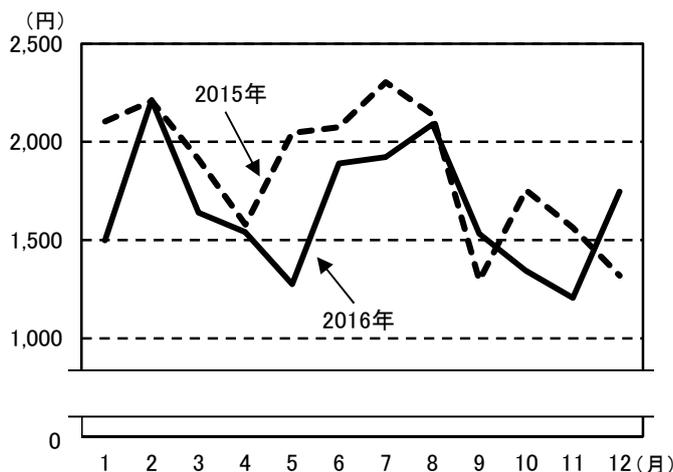
図Ⅲ-5-1 パック旅行費（外国）の支出金額の推移
（二人以上の世帯）



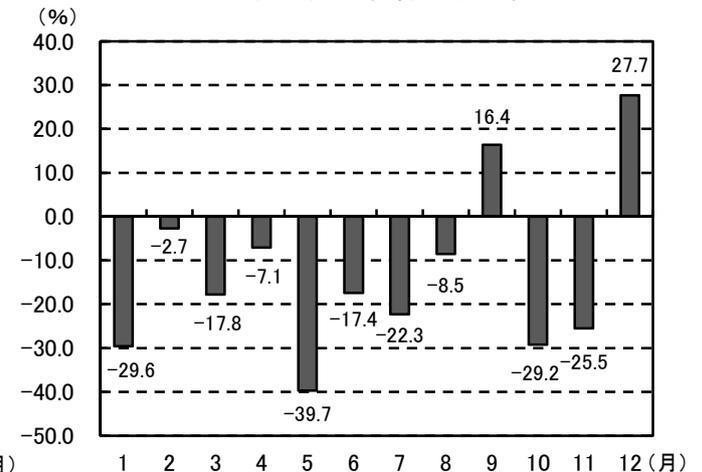
図Ⅲ-5-2 パック旅行費（外国）の支出金額の対前年実質増減率の推移
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-5-3 パック旅行費（外国）の月別支出金額の推移
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-5-4 パック旅行費（外国）の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移
（二人以上の世帯） -2016年



パック旅行費（外国）の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が2,235円で最も高く、次いで50～59歳（2,006円）、70歳以上（1,399円）などとなっている。前年と比べてみると、全ての年齢階級で実質減少となった。（表Ⅲ－5、図Ⅲ－5－5）

表Ⅲ－5 世帯主の年齢階級別パック旅行費（外国）の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2015年	1,858	868	1,114	2,142	2,637	1,523
2016年	1,658	773	972	2,006	2,235	1,399
名目増減率(%)						
2016年	-10.8	-10.9	-12.7	-6.3	-15.2	-8.1
実質増減率(%)						
2016年	-15.0	-15.1	-16.8	-10.7	-19.2	-12.4

図Ⅲ－5－5 世帯主の年齢階級別パック旅行費（外国）の支出金額（二人以上の世帯）

